

センターだより

NO. 5

平成22(2010)年9月7日発行
吹田市立教育センター
大阪府吹田市出口町2-1
TEL 06-6388-1455
FAX 06-6337-5412
メール s-educ@suita.ed.jp

不登校児童・生徒支援活動

「光の森」活動から・・・

吹田市立教育センターの事業の一環として実施している適応指導教室「光の森」では、現在22名の子どもが在籍（入室前の体験中の子ども含む）し、北千里の自然体験交流センター内の施設で午前中の学習、午後のフリータイムの日課で週5日（月曜日のみ教育センターで体験活動）活動を行っています。最近の「光の森」の状況を、子どもたちの様子とともに紹介します。

現在の「光の森」の入室者は、小学生はいませんが、中学3年生が12名、2年生が5名、1年生が4名です。1学期皆勤は少なかったものの、多くの生徒が日々元気に活動に参加していました。夏休みに入ると、中学3年生は13日間の学習会（9:15～12:00）の他、恒例の「光の森」キャンプがありました。7月27日・28日の1泊2日で、北近江の「少年自然の家」へバスで行きました。生徒15名の参加で、初日は午後一番でマキノサニービーチで水遊び。その後宿舎で入村式、バーベキュー、キャンプファイアー、花火大会。2日目は午前中カヌー、アーチェリー、グラウンドゴルフの後、退村式。3時30分頃吹田に帰ってきました。7月初めからキャンプファイアーの歌の練習などの準備も含め、こんなに楽しく活動できたことは、スタッフの感動もさることながら、参加生徒の大きな自信になったかと思えます。9月2日から2学期の活動が始まります。「光の森」では教育センターの指導主事を含めて9名のスタッフとフレンド（学生等のボランティアで現在20数名が登録してくれていますが、卒業生等で希望者があれば是非紹介してください）で子どもたちの支援を行っています。特に子どもたちの話し相手、遊び相手として協力してくれているフレンドの存在は子どもたちを元気づける大きな力となっています。

「光の森」の活動につきましては、各校1部ずつですが毎月「光の森通信」で学校にお知らせしています。ご希望があれば参観も歓迎しますので、是非多くの先生方に子どもたちの活動の様子を見てください。



吹田市教育研究大会

たくさんの参加・報告
ありがとうございました！！

本年度の教育研究大会は、2学期の直前の、8月30日午後から全体会と分科会を開催し、**1456名**の教職員の参加がありました。国立教育政策研究所・千々布敏弥先生の基調講演では、教職員の資質向上の方策について、主に授業研究の面から学ぶことができました。そして、基調講演を受け、7つの分科会での報告・講演等により、様々な教育課題について学びを深めることができたことと思います。ご協力ありがとうございました。研究大会の報告につきましては、9月下旬にまたお知らせします。

9～10月 教職員研修予定



講座名	番号	研修テーマ・講師名・概要等	会場	日時	対象	
ライフステージにあった研修 ステップアップ 選択研修	48A	吹田市適応指導教室「光の森」について学ぶ ※活動を参観し「光の森」活動と子どもについてのお話を聞き深めます。 講師 「光の森」スタッフ	自然体験 交流センター	10月28日(木) 午後	ステップアップ研修Ⅰ ステップアップ研修Ⅱ 受講者	
	48B	吹田市適応指導教室「学びの森」について学ぶ ※活動を参観し「学びの森」活動と子どもについてのお話を聞き深めます。 講師 「学びの森」スタッフ	竹見台 多目的施設	10月21日(木) 午後	ステップアップ研修Ⅰ ステップアップ研修Ⅱ 受講者	
	50	吹田市難聴学級センター校について学ぶ 「難聴生徒への指導の実際・情報保障について学ぶ」 ※授業の様子をビデオで紹介していただきながら学びます。 講師 第六中学校 指導教諭 永井 隆	吹田第六中学校 わかたけ教室 (B棟 1階)	10月29日(金) 16:00～	ステップアップ研修Ⅰ ステップアップ研修Ⅱ 受講者	
課題別研修	情報教育	75 ICTを活用した授業づくり 「ICT機器の活用で授業力を高めよう」 講師 和歌山市立雑賀小学校 教諭 岡本 友尊 先生	教育センター 視聴覚室 (2階)	10月25日(月) 16:00～	小・中学校 教職員 情報教育推進委員	
	教育相談 2	67 「現代の子どもたちーネット社会を通して考える」 ※今の子どもたちのネット社会でのつながりやコミュニケーションの実態について考えます。 京都文教大学臨床心理学部教授 高石 浩一先生	教育センター 視聴覚室 (2階)	10月14日(木) 16:00～	教育相談担当者 教職員	
特別支援教育 事例研修	224	事例研修(学習領域) 大阪医科大学LDセンター 言語聴覚士 西岡 有香先生	教育センター 視聴覚室 (2階)	9月13日(月) 16:00～	教職員	
教科領域別研修	小学校 英語活動研修	80	「英語活動・英語科における小中連携について」(仮題) 講師 関西大学 外国語学部副学部長教授 竹内 理先生 ※小学校英語担当者会と兼ねる	教育センター 視聴覚室 (2階)	9月17日(金) 16:00～	小学校教職員 中学校英語科教員
		87	「英語ノートのアクティビティ」 「初歩の英会話」 講師 ①藤白台小学校 教諭 森 可奈恵 吹田市AET サイモン・イオン ②吹田市教育委員会指導課指導主事 今枝 かおり 吹田市AET サイモン・イオン ③山田第五小学校 指導教諭 篠田 美千子 吹田市AET サイモン・イオン	①藤白台小学校 高学年図書室(1階) ②吹田第一小学校 高学年図書室(3階) ③豊津第一小学校 高学年図書室(3階)	①10月15日(金) 16:00～	
		88			②10月25日(月) 16:00～	
		89			③11月 1日(月) 16:00～	
授業づくり 研修	スーパー ティーチャーに 学ぶ	95	【公開授業と講演】 「学習意欲を高め、確かな学びをつける授業」 ー新教育課程での算数・数学科の授業改善ー 講師 筑波大学教授 坪田 耕三 先生 ※本研修は小学校教育研究会算数部と共催です。 ※山手小学校5年1組の公開授業です。	吹田市立 保健センター	9月15日(火) 14:30～	教職員 ※定員 150名
		96	【公開授業と講演】 「活用力・確かな読みの力をつけるための国語科の授業」 ー文学教材を通してー 講師 筑波大学附属小学校教諭 二瓶 弘行 先生 ※本研修は小学校教育研究会国語部と共催です。 ※藤白台小学校6年1組の公開授業です。	藤白台小学校	10月12日(火) 14:30～	教職員
情報教育 研修	校内LANとICT 機器を活用 した授業改革	326	【公開授業】 「ICT機器を活用した公開授業②」 中学校社会科での取組 授業者 古江台中学校 森脇 俊介教諭 ※古江台中学校ブロック研究授業を公開授業としてご協力いただいています。	古江台中学校 集会室	10月20日(水) 14:30～	教職員

※各講座の詳細は、各学校ごとに送付します実施要項をご覧ください。

ワンポイントコラム No.3

今回は、巡回相談からのメッセージをお届けします



クラスの中に発達に課題のある子どもがいるとき、先生方は、どうされていますか？
子どもの負担が少しでも減るように、周囲の先生に相談し、様々な対応をしておられると思います。
巡回相談では、そんな先生方のお手伝いが出来ればと考えています。
巡回相談には、今までの対応をお聞きしながら、学習や行動の課題を整理し、対応を考える「ケース会議」があります。会議は、管理職や、校内の特別支援コーディネーターの先生など必要な先生に入って頂き、みんなで話し合っています。多くの先生で話し合うことで、手だてのアイデアが豊富になります。そして、子どもに手だてが合った時の喜びや安堵感を、校内の先生達と共有しやすくなります。一人の子どもの理解を通じて、別の子どもの課題にも気づけると、どの子にも温かいクラスになるように思います。
まだ、巡回相談を依頼したことがない学校は、一度試されてみませんか？
ケース会議以外にも、特別支援教育の校内研修を行うことが可能です。ぜひ、お問い合わせください。

夏期研修報告

平成22年度は、夏季に合計57講座の研修を実施し、延べ1742名の教職員の参加をいただきました。ご協力ありがとうございました。それぞれの研修で学ばれたことを学校に持ち帰り、ぜひ2学期以降各学校の取組につなげていただけたらと思います。



初任者・フレッシュ研修



初任者にとって、教職員として初めての夏季休業でしたが、府の研修だけでなく、吹田市でも初任者研修を行いました。施設でのボランティアをして学ぶ社会体験研修や、自然に触れて学ぶ万博でのフィールドワークなど、夏季休業中ならではの研修も実施しました。この機会に学びを深めた初任者の感想を紹介します。

子どもたちが何に困っているのか、なぜそんな言動をするのか、子どもの立場になって考える視点を忘れないようにしたいと思います。
(特別支援教育研修)

子どもたちが安心してほっとできる場づくりが大切だと思いました。その場をつくっていくためにも、できるかぎり思いこみをすてようと思います。
(人権教育研修)

もっと、日頃から様々なことに目を向けて、新たな発見をしていきたいと思いました。なにより、これからの学校生活で、そのような喜びや感動を生徒に味わわせてあげたいと思いました。
(自然観察・環境学習研修)



教育課題別研修



新教育課程に重点を置きながら、合計10講座を実施し、延べ461名の方の参加をいただきました。実施した講座の一部の感想を紹介致します。

食育の効果のところで、残滓が激減したという結果は驚きました。食育は継続して行うことが大切。取り組みの系統性がよくわかりました。(食育研修)

校内研修の進め方を実際にやったことで参考になった。小・中・教科関係なしに共通して授業で大切にしなければならない部分があった。グループ協議には観点の提示が大切だと思った。
(授業研究リーダー研)

小中一貫教育の大切さ・細かなステップづくりの必要性・子ども主体の授業の大切さを実感しました。学校全体で組織的に取り組むことの大切さを実感。
(読解力を軸とした各教科における授業改善)

子どもの見方・受け止め方を具体的に考える時間となった。子どもの心に寄り添ってじっくり関わりたい。保護者とも丁寧に向き合い、子育てで孤立しないようにしたいと思う。
(授業相談研修)



是非、学校で深めてください!



ステップアップ研修 I・II



夏季休業中にはステップI・IIの合同開催で1講座、その他ステップIが2講座、ステップIIが2講座、計5講座を行いました。延べ117名の先生方が参加しました。

今年度は新しい試みとして、ステップI・IIの合同開催で授業づくりの選択研修を行いました。全6講座を受講者が選択し、少人数で学ぶという研修です。講師は吹田市の指導教諭など現場で活躍するベテランの先生方にお願ひし、実技や模擬授業、授業ビデオ、たくさんの教材資料など、楽しく工夫された研修をしていただきました。参加した受講者は、体験したりワークで考えたりしながら、授業づくりについて深めることができました。



特別支援教育研修会



夏季休業中には4講座に延べ240名の方が参加し、学びを深めました。以下に参加された方の感想を紹介致します。

子どもの見方を変えれば言葉掛けもかわるのが印象的でした。具体的にわかりやすい。特にロールプレイは参考になりました。
(特支Co.研修213)

1学期、あやふやなまま終わってしまった子ども達の実態ですが、こんな風に整理して考えていけば迫っていける!と思いました。先生方の意見の出し合ひで、こんなたくさんの支援方法があるのだととても勉強になりました。また担任が代わっても残していけると感じました。
(特支Co.研修214)

2学期から使えそうなシートや自分が子どもへの手立てを考えるための助けになるような考え方を教えていただき勉強になりました。先生の具体的な子どもを挙げてのお話が分かりやすく、良かったです。
(事例研221)

研修会に参加するにつれ、特別支援教育で考えられる教師の支援の方法はクラスの子すべてに当てはまる支援であることが分かりました。1つの授業の中での様々な支援を考えることの大切さ、面白さを感じています。(特支Co.研修215)

2学期にも研修を予定しています。どうぞご参加下さい!

授業づくり研修

小学校理科実験・観察研修

小学校の理科で使う器具の取扱いから、教科書に載っている実験や観察を中心に、研修を行いました。2日の連続研修で、延べ22名が参加しました。

くわしい先生に教えていただけるので、ちょっとした疑問なども聞きやすく楽しく学べました。

講師は市内中学校の理科の先生



実際に操作しながら確かめられたので、コツなどよくわかりました。ものづくりも授業で活用できるので、助かりました。

体験しながら学んでいきました。

受講者の中には、今年初めて理科専科になった人や理科指導に苦手意識を持つ人などがいて、こうした研修の定期的な開催の必要性を感じました。



小学校英語研修

夏季集中研修・実践ワークショップ研修

チャンツ・歌、ゲーム・アクティビティ、英語劇等、英語を使ったいろいろな活動を体験するとともに、小グループに分かれて、それぞれが教師役になり、実際に指導することを体験する“参加・体験型”研修でした。参加者は、どの回でも楽しく学んで、英語活動への意欲を高めていました。



・体と心がほぐれるような、たくさん歌やチャンツを知ることができ、とても楽しく、学びのある研修でした。

・グループで考えて発表することで、より自分のものになった。参加型の研修でとても役に立ちました。

・「必然性」というのが一つのキーワードだったように思います。目的・ねらいを見据えて指導していきたいです。



ヤングリーダー研修 学校パワーアップ研修

夏季休業中には、ヤングリーダー研修として「子ども理解」「セクシュアル・ハラスメント防止」を、学校パワーアップ研修として、「人権教育」「大阪府の学力向上」「学校評価」を実施しました。

いずれの研修も、これからの学校、ひいては吹田の教育を担っていく、ミドルリーダーとして学んでおいていただきたい内容のものです。今後の各校での教育活動に、是非活かしていただきたいと願っています。



また、今年度新たな試みとして、ヤングリーダー研修のうち1回を、「教育課題別研修」(7~9月に3回実施)の中から、受講者が選択して1つ以上受講することとし、より受講者のニーズに応じた研修になるようにしました。



情報教育研修



夏季休業中に17講座開催し385名の先生方に参加いただきました。今年は、教育センターの情報科学室での研修に加え、市内小・中学校にて校内LAN及びタブレット型ノートパソコンの活用を目的とした研修も実施しました。

いずれの研修も、例年を上回る先生方が参加され、熱心に研修されていました。

2学期以降の授業や校務に活かしていただければと願っています。



2学期以降、「授業づくり研修」や「情報教育公開授業」にて、ICT機器を活用した提案授業を実施する予定です。より多くの授業で提案が出来ればと考えていますので、是非多くの先生の参加をお待ちしています。